

発言通告一覧表

日	番	氏名	件名
12/4	1	森西順次	1. 企業誘致について 2. 財政について
	2	松本義隆	1. 企業誘致について 2. 教育行政について
	3	岡安謙典	1. 教育関係について 2. 少子化対策について 3. 自律移動支援プロジェクト(ユビキタスシステム)の取り組みについて
	4	近藤吉一郎	1. まちづくりについて 2. 福祉行政について 3. 健全育成について
	5	川崎修	1. 農村 農業の振興について 2. 健康対策について
	6	河本英敏	1. 市政への信頼を実現するために 2. 介護保険制度の改正からその変化は
2/12/5	1	高橋誠	1. 津山市の財政から見た今後の事業計画 2. 総合ごみ処理場建設に関わる問題について
2	2	庄司勝義	1. 生涯学習 2. 道路整備
2	3	竹内靖人	1. 行政組織の効果的の改革について
2	4	久永良一	1. 市長の政治姿勢 2. 子どもの豊かな人格形成 3. ごみ処理センター
2	5	小栗興治	1. 再開発事業に関して 2. 日本原高校の閉校に関して
2	6	川端恵美子	1. 子育て支援と福祉行政について 2. 人づくりと文化の振興について
3/12/6	1	勝山修	1. 庁舎駐車場の件について 2. 食育基本計画について
3	2	齋藤弘道	1. 津山市の観光について 2. 後期高齢者医療制度について
3	3	佐々木裕子	1. 環境施策 2. まちづくり施策
3	4	秋山幸則	1. 活力ある街づくりについて 2. 安全安心問題について 3. 教育行政について
3	5	田中宣夫	1. 安心安全の街づくり 2. 教育問題
3	6	美見みち子	1. 教育問題について 2. 子どもの施策について 3. 第4次総合計画について
4/12/7	1	倉持照憲	1. 教育行政 2. 農林行政
4	2	西野修平	1. 教育について 2. ごみ処理について
4	3	米井知博	1. 農村・農業施策について
4	4	谷口圭三	1. 行財政改革について 2. 産業政策について 3. 再開発事業について
4	5	吉田耕造	1. まちづくり行政 2. 教育行政
4	6	末永弘之	1. 市長の政治姿勢について 2. 土地利用とパチンコ店出店について 3. 福祉施策のあり方
5/12/8	1	野村昌平	1. 地域・地区から見たまちづくり
5	2	北本周作	1. 広域ごみ処理センターの現状と展望 2. 教育行政について 3. 各支所の空室の活用について
5	3	武本淑男	1. 行財政改革について 2. 教育問題について 3. アルネ津山問題について
5	4	竹内邦彦	1. 公共交通 2. 教育行政
5	5	権田直良	1. 都市景観条例を急げ 2. 消費税の扱いについて 3. 教育の諸課題から
5	6	森岡和雄	1. 教育問題について 2. 医療福祉の充実について 3. 産業振興について

団塊世代に就農のアピールを

津山新星会議 米井知博



質問 ↓農村地域では高齢化と後継者不足により耕作放棄地が急増している。この対策には認定農業者や集落営農組織の育成とは別に、経済的余裕が

あり遊びの要素のある団塊世代の新規就農を推進すべきだ。協働の原点ともいえる春秋の彼岸の道づくりに対して協働の観点からも支援が必要だ。どぶろく特区を取得したが経済効果は、今後どう生かしていくのか。

答弁 ↓定年帰農に関心が高いとされる団塊世代の就農支援は県、JAなど関係機関と連携を深め取り組む。道づくりは協働の原点と考えている。出来る限り協力し推進する。どぶろく特区の経済効果は直ちに予測できないが、地域の名物として観光振興に結びつくこと期待している。

事業実施のための投資的経費、どう確保するのか

新風会 谷口圭三



質問 ↓総合計画の実施は、行革効果なくしては困難であると考えるが、効率的な組織体制の構築と、事業実施のための投資的経費をどう確保するのか。

答弁 ↓第八次行革実行計画は数値目標を上

回って実現することが最重要。人件費は、実行計画に従って人員削減に取り組み、公債費は、通常債の発行額を三十億円程度に抑える。

質問 ↓アルネ再建には、街づくり会社の単年度黒字化が必要だが、リニューアル後の状況と今後の見通しは。

答弁 ↓第一弾のリニューアル以降、堅調に推移。入館者数、売上高ともに前年対比で約百二十%のプラスとなっており、今後の3セク側の収支に好影響を与えると認識。春には、山陽新聞カルチャープラザが開講される予定で、賑わいに大きな効果を生むと考える。

◎ 議員は選挙区内の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れは禁止されています。